

# 11カ年連結財務サマリー

株式会社橋本子エインおよび連結子会社  
毎年4月1日から翌年3月31日までの連結会計年度

	2009年度	2008年度	2007年度	2006年度
売上高	¥112,759	¥141,517	¥167,202	¥155,746
営業利益	4,737	9,095	19,805	16,008
税金等調整前当期純利益（損失）	5,047	8,442	18,485	17,634
当期純利益（損失）	3,175	6,188	10,371	8,541
1株当たり当期純利益（損失）（円、米ドル）	¥ 17.07	¥ 33.26	¥ 55.70	¥ 45.55
金融費用：				
純額	¥ 637	¥ 650	¥ 839	¥ 950
総額：受取利息	29	116	124	73
支払利息	666	766	963	1,024
設備投資額	3,988	10,041	10,225	10,893
減価償却費	7,390	7,344	7,301	5,948
流動資産合計	82,020	75,037	90,533	92,961
流動負債合計	48,551	47,213	53,958	58,105
有形固定資産合計	80,883	84,168	83,412	81,796
固定負債合計	47,253	46,782	60,855	68,465
資産合計	182,641	178,455	202,316	212,739
資本金	17,076	17,076	17,076	17,076
利益剰余金	66,655	64,782	60,317	51,279
自己資本	80,847	78,422	81,605	81,033
自己資本比率（%）	44.3	43.9	40.3	38.1
ROE（%）	4.0	7.7	12.8	10.8
D/Eレシオ	0.48	0.48	0.48	0.52
営業活動によるキャッシュ・フロー	¥ 14,508	¥ 7,263	¥ 20,873	¥ 10,107
投資活動によるキャッシュ・フロー	-5,020	-9,723	-11,481	-5,879
財務活動によるキャッシュ・フロー	-373	-3,540	-5,582	-647
現金及び現金同等物の期末残高	20,379	11,269	17,744	14,618
期末発行済株式総数*2（千株）	186,032	186,043	186,077	187,492
従業員数*3（人）	5,271	5,339	5,371	5,114

\*1 連結財務サマリーは円貨で作成していますが、読者の便宜を図るため、2010年3月末の為替相場1米ドル = 92.90円で換算した米ドル金額を表示しています。

\*2 自己株式を除く。

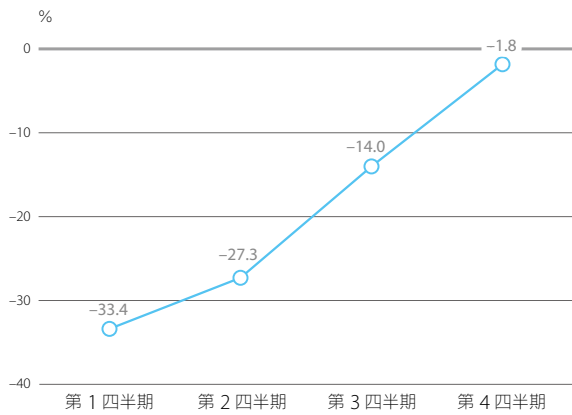
\*3 従業員数には、契約社員、パート、アルバイトを含んでいます。

単位：百万円(1株当たり情報を除く)								単位：千米ドル <sup>1)</sup>
	2005年度	2004年度	2003年度	2002年度	2001年度	2000年度	1999年度	2009年度
	¥147,761	¥129,563	¥119,141	¥116,670	¥113,741	¥114,206	¥106,281	\$1,213,772
	13,830	10,447	7,950	7,351	6,038	6,961	2,704	50,999
	12,608	8,597	6,536	2,800	2,661	226	2,724	54,334
	6,606	4,449	3,384	1,530	1,201	464	1,218	34,177
	¥ 34.78	¥ 22.77	¥ 17.40	¥ 7.92	¥ 6.27	¥ 2.42	¥ 6.36	\$ 0.18
	¥ 908	¥ 1,160	¥ 1,362	¥ 1,635	¥ 1,585	¥ 1,666	¥ 1,577	\$ 6,856
	85	33	68	103	222	283	162	318
	994	1,194	1,431	1,738	1,808	1,949	1,739	7,174
	7,488	3,697	3,505	2,942	16,193	10,251	32,487	42,931
	5,509	5,503	6,083	6,735	5,611	4,321	4,443	79,558
	78,856	72,125	69,735	83,073	90,750	93,983	83,142	882,892
	56,337	53,800	48,395	52,061	58,124	65,374	50,079	522,617
	76,263	75,393	76,307	80,416	85,381	82,178	76,351	870,653
	60,917	49,850	56,758	67,638	77,676	74,065	67,473	508,645
	198,458	179,263	175,432	183,260	201,555	208,876	184,468	1,966,002
	17,076	17,076	17,076	17,076	17,076	17,076	17,076	183,817
	44,508	39,343	36,198	33,974	33,499	33,480	34,020	717,499
	77,098	71,633	66,872	60,306	62,673	66,463	63,750	870,266
	38.8	40.0	38.1	32.9	31.1	31.8	34.6	
	8.9	6.4	5.3	2.5	1.9	0.7	1.9	
	0.51	0.61	0.75	1.08	1.22	1.18	1.16	
	¥ 10,680	¥ 9,672	¥ 7,995	¥ 12,020	¥ 7,709	¥ 5,968	¥ 3,268	\$ 156,171
	-5,595	-2,465	9,067	-3,014	-10,718	-10,833	-28,755	-54,042
	-5,595	-9,412	-15,537	-14,216	-4,243	2,026	27,166	-4,021
	10,984	11,562	13,680	12,416	17,679	24,852	27,585	219,372
	187,541	187,612	188,543	188,722	191,386	191,406	191,406	
	4,675	4,765	4,709	4,871	4,916	5,237	5,440	

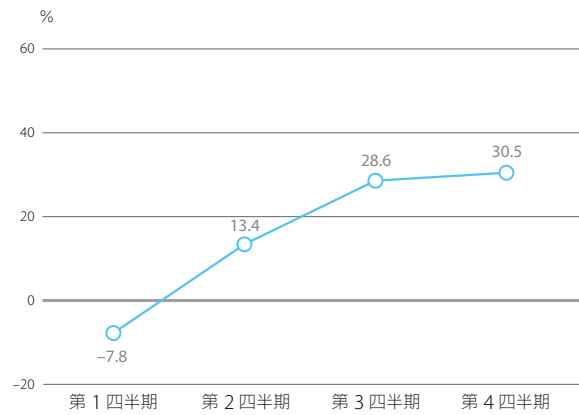
# 数値でみる外部環境とつばきグループの営業状況

## 外部環境に関わる統計

○ 2009年度日本の機械受注統計—対前年同期比増減



○ 2009年度世界5大地域の自動車販売台数—対前年同期比増減

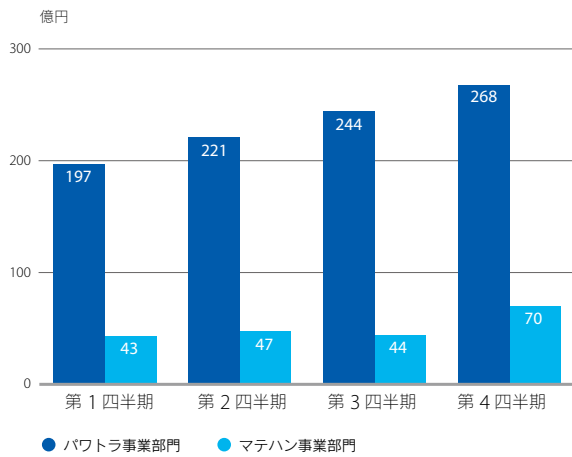


	年度統計				
	2007年度	2008年度	2009年度	2008年度	2009年度
外部環境に関わる統計					
1.日本の名目GDP統計(十億円)					
GDP	¥515,645	¥494,182	¥475,898	-4.2%	-3.7%
民間企業設備投資額	81,339	76,760	62,822	-5.6%	-18.2%
輸出	92,222	78,314	64,185	-15.1%	-18.0%
2.日本の機械受注統計(十億円)	12,364	10,617	8,434	-14.1%	-20.6%
3.世界の自動車販売(千台)					
米国	16,147	13,217	10,766	-18.1%	-18.5%
日本	5,354	5,082	4,880	-5.1%	-4.0%
中国	8,785	9,363	15,559	6.6%	66.2%
韓国	4,066	3,838	3,787	-5.6%	-1.3%
EU	15,574	13,864	13,948	-11.0%	0.6%
5大地域合計	49,926	45,365	48,940	-9.1%	7.9%
つばきグループデータ(連結)					
1.受注高(百万円)					
パワトラ事業部門	¥134,313	¥108,897	¥92,517	-18.9%	-15.0%
マテハン事業部門	35,963	25,829	19,645	-28.2%	-23.9%
合計	170,276	134,727	112,163	-20.9%	-16.7%
2.売上高(百万円)					
パワトラ事業部門	135,225	115,001	93,212	-15.0%	-18.9%
うちチェーン事業	49,800	43,900	35,200	-11.9%	-19.7%
うち精機事業	27,900	26,200	18,500	-6.2%	-29.2%
うち自動車部品事業	53,600	42,200	38,200	-21.3%	-9.6%
マテハン事業部門	33,097	27,764	20,485	-16.1%	-26.2%
3.営業利益(百万円)					
パワトラ事業部門	19,429	11,171	7,291	-42.5%	-34.7%
マテハン事業部門	3,950	1,737	200	-56.0%	-88.5%
4.営業利益率					
パワトラ事業部門	14.4%	9.7%	7.8%	—	—
マテハン事業部門	11.9%	6.3%	1.0%	—	—

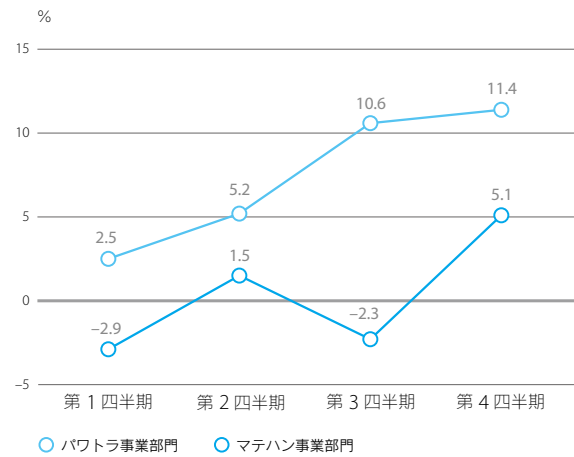
1.出所は、日本の名目GDP統計および機械受注統計が内閣府、自動車販売はブルームバーグとなっています。  
 2.日本の機械受注統計は、船舶・電力を除く民需。  
 3.自動車販売の年度統計のみ暦年、その他はすべて4月から始まる日本の会計年度ベースとなっています。  
 4.すべての外部環境に関わる統計は、2010年5月22日現在のデータであり、それ以降の修正・更新は反映していません。  
 5.パワトラ事業部門の中のチェーン事業、自動車部品事業、精機事業の売上内訳は、管理会計上の数値であり、財務会計数値ではありません。

## つばきグループデータ(連結)

○ 2009年度事業セグメント別売上高の推移(連結)



○ 2009年度事業セグメント別営業利益率(連結)



	2009年度四半期統計							
	原数値				前年同期比			
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
	¥118,354	¥115,120	¥125,087	¥117,338	-6.2%	-5.8%	-3.8%	1.4%
	14,300	15,583	14,549	18,390	-24.7%	-24.6%	-17.4%	-5.6%
	14,071	15,740	16,918	17,456	-38.0%	-34.6%	-9.8%	36.4%
	2,086	2,068	1,961	2,318	-33.4%	-27.3%	-14.0%	-1.8%
	2,604	3,005	2,614	2,544	-31.9%	-10.1%	5.5%	15.5%
	958	1,217	1,205	1,499	-18.5%	-1.9%	14.3%	22.1%
	3,415	3,556	3,978	4,611	31.6%	73.8%	85.7%	72.5%
	865	897	1,087	937	-18.4%	12.1%	10.0%	35.1%
	3,893	2,962	3,422	3,671	-4.4%	4.6%	17.9%	9.2%
	11,735	11,637	12,306	13,262	-7.8%	13.4%	28.6%	30.5%
	¥ 19,807	¥ 21,369	¥ 25,068	¥ 26,273	-41.2%	-31.9%	-3.4%	47.0%
	2,882	6,944	3,117	6,702	-53.2%	-20.1%	-32.8%	5.6%
	22,689	28,313	28,186	32,975	-43.1%	-29.3%	-7.9%	36.2%
	19,796	22,106	24,426	26,884	-40.7%	-32.8%	-13.6%	31.4%
	7,800	8,600	8,800	9,800	-33.8%	-29.4%	-20.3%	14.0%
	3,900	4,400	4,900	5,200	-45.8%	-41.5%	-24.1%	7.9%
	7,500	8,900	10,400	11,200	-43.4%	-28.2%	3.8%	75.2%
	4,314	4,731	4,415	7,025	-26.1%	-55.6%	-15.3%	15.9%
	490	1,154	2,580	3,067	-89.6%	-74.3%	-3.4%	—
	-123	70	-102	355	—	-94.4%	—	37.6%
	2.5%	5.2%	10.6%	11.4%	—	—	—	—
	-2.9%	1.5%	-2.3%	5.1%	—	—	—	—

# 2009年度経営成績および財政状態の報告・分析 (連結)

## 経営成績の分析－損益計算書主要項目

### 売上高

四半期ベースでは売上高が回復基調で推移、第4四半期には前年同期比27.8%増となりましたが、通期の売上高は前期比で20.3%減となりました。特に年度の前半において自動車生産の落ち込みが大きかったこと、さらには民間設備投資が抑制されたことなどが影響しています。国内売上高は前期比で19.8%減、海外売上高は21.3%減となりました。

### 営業利益

当社グループでは急激な売上高の落ち込みに対応して、2009年度には、人件費を中心とした固定費を前期比で約83億円削減しました。また、材料費の圧縮や内製化などの施策によって変動費も約6億円削減しています。しかし、売上高の大幅な減少と円高の影響を吸収するまでには至らず、営業利益は前期比で47.9%の減少となりました。この結果、営業利益率は4.2%と、前期の6.4%から2.2%ポイント低下しました。しかし、四半期ベースでは営業利益率は着実に回復、第4四半期には8.2%にまで上昇しています。

### 当期純利益

2009年度においては、営業外収支が2億53百万円のプラスと2008年度(2億33百万円のプラス)とほぼ同水準となりました。一方、特別損益はネットで57百万円となり、前期比では9億44百万円の改善となっています。これは主として投資有価証券評価損が減少したことに伴うものです。以上の結果、2009年度の当期純利益は31億75百万円と前期比48.7%の減少となりました。

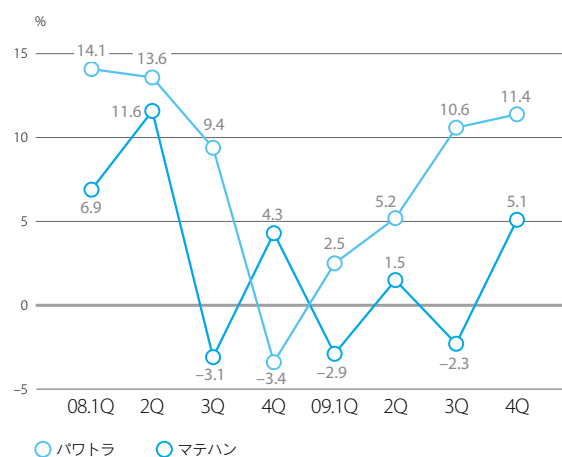
## 経営成績の分析－事業セグメント情報

チェーン事業、精機事業、自動車部品事業から構成される「パワトラ事業部門」の売上高は、前期比で18.9%の減少となりました。しかし四半期ベースでは、第1四半期を底に回復基調をたどり、第4四半期の売上高は前年同期比で31.4%の増加となりました。特に自動車部品事業の回復が顕著となっています。このような状況下、パワトラ事業部門の2009年度営業利益率は7.8%と、前期比では1.9%ポイントの悪化に止まりました。

● 売上高と営業利益率推移 (四半期ベース)



○ 事業セグメント別営業利益率の推移 (四半期ベース)



一方、「マテハン事業部門」は、流通業界・鉄鋼業界向け搬送設備などが比較的堅調に推移したものの、設備投資低迷の影響を受けたことなどにより、2009年度の売上高は前期比で26.2%の減少、営業利益率は1.0%と、前期比で5.3%ポイントの大幅な低下となりました。

### 財政状態の分析

2009年度は大幅な減益とはなりましたが、固定費の削減効果によって一定の当期純利益は確保することができたことから、利益剰余金が18億72百万円増加しました。さらには保有株式の時価評価差額増加も加わり、2009年度末の「純資産」は前期末と比較して23億78百万円増加しました。また「純有利子負債残高」は185億31百万円となり、前期末比で78億円の減少となりました。以上の結果、「自己資本比率」は前期末比で0.4%ポイント改善し、44.3%となりました。

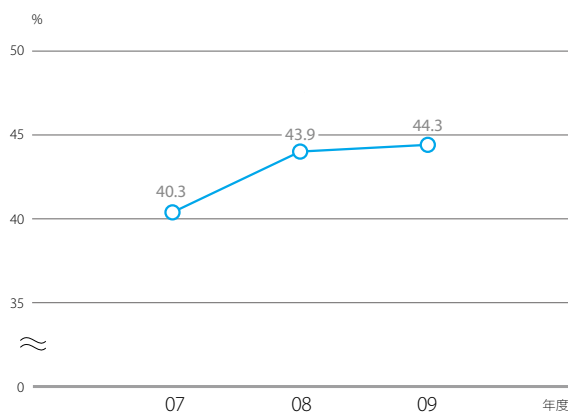
### キャッシュ・フローの分析

2009年度の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は145億8百万円となり、前期の72億63百万円と比較して、入超額が大きく拡大しています。「投資活動によるキャッシュ・フロー」は50億20百万円の出超となりました。出超額が前期に比べ47億3百万円減少しています。これは景気の低迷に伴い、不要不急の設備投資を抑制した結果です。一方2009年度の「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、3億73百万円の出超となりました（前期は35億40百万円の出超）。

### 研究開発の状況

2009年度の研究開発費は総額で35億43百万円となりました。厳しい経済環境の中にあっても、当社グループでは、技術力の強化や新商品開発によって他社との差別化を一層促進していく戦略を継続しており、研究開発費は売上高が大幅に減少する中、前期並みの水準を維持しています。

#### ○ 自己資本比率の推移



#### ○ 研究開発費の推移

